



### 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



#### 甲子園の土を最初に持ち帰った高校球児

福岡県立小倉高校(昭和 22 年までは旧制小倉中学)は、昭和 22 年、23 年の夏の甲子園で連続優勝したが、その立役者がエースの福嶋一雄投手で、とくに 23 年の大会では全 5 試合連続完封で 2 連覇を果たした。そして昭和 24 年も甲子園に出場、3 連覇に期待が高まったが、準々決勝で倉敷工業に延長 10 回惜敗した。この敗戦で退場する時、福嶋投手はスコアボードを仰ぎ見ながら、無意識に土を掴んでズボンの後ろポケットに入れて、甲子園を後にした。この退場シーンに感動した大会審判長が「この甲子園で学んだものは、学校教育で学べないものだ。君のポケットに入ったその土には、それがすべて詰まっている。それを糧に、これからの人生を生きてほしい」という手紙を福嶋に出した。

このエピソードから福嶋は「甲子園の土を最初に持ち帰った球児」と言われるようになったのである。福嶋投手は早大を経て、地元の八幡製鉄に就職、都市対抗野球でも活躍、平成 25 年に野球殿堂入りしている。現在 88 歳でご健在です。

#### 車上荒らし(なぜ「車上」というのか)

この「車上荒らし」という言葉はけっこう昔からある。では、なぜ車内(車中)を荒らすのに車上というのだろうか。それは、本来、車というのは自動車を指すのではなく、車輪のことをいっていたか



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

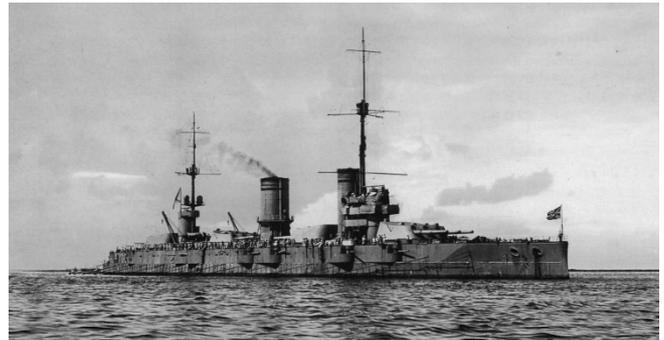
らだ。昔の人力車や荷車は屋根がなく、車輪の上の荷台に乗っかるので「車上」となる。「車上荒らし」も荷台の荷物を荒らされたことからきているのである。

### 超ド級

同類のものよりケタ違いに大きいことを「超ド級」という。超ド級の「ド」は、1906年にイギリス海軍が建造した大型戦艦「ドレッドノート (dreadnought)」の頭文字「ド」で、日本では「弩」の字が当てられ「弩級艦」と表記された。

英語「dreadnought」は、「恐いものなし」を意味している。当時としては巨大な戦艦で他を圧倒する性能を有し、ドレッドノートに続いて建造され

た戦艦は「超弩級艦」「超超弩級艦」と言った。そこから、他を圧倒するもののこと、特にサイズが大きいことの意味で「ド級」や「超ド級」という言葉が使われるようになったのである。



### 大津事件と畠山勇子

明治24年(1891年)5月11日、来日していたニコライ皇太子(後のロシア帝国ニコライ2世)が琵琶湖観光の帰途、大津町(現在の天津市)を通過中、巡査の津田三蔵に切りつけられるという事件が発生した(大津事件)。皇太子は頭部を負傷したものの、命に別状はなかった。しかし、当時小国であった日本が大国ロシアの皇太子を負傷させたことは、国中に激震が走る大事件であった。

この時、東京・日本橋の魚問屋でお針子として働いていた畠山勇子は国家の一大事だと、5月20日京都に駆けつけ「露国御官吏様」「日本政府様」「政府御中様」の3通を京都府庁に投じ、カミソリで喉と胸を深く切って自殺を図ったのである。すぐには死ぬことができず病院に運ばれたが、出血多量のため絶命した(享年25)。畠山勇子は父親の影響で政治や歴史に関心を持ち、お針子ながら新聞などを熱心に読んでいたという。この事件で大国ロシアと戦争にでもなったら、国が滅んでしまう、と判断したのである。上記3通のほか、叔父や母親、弟などに宛てた遺書を郵便で出しており、計10通を残していた。畠山勇子の壮絶な死は「烈女勇子」として世間に広まり、盛大な追悼式が執り行われたという。

彼女の死は、多くの遺書や新聞報道などによって国際社会の同情をかい、ロシア側の寛容な態度につながったとの見方もある。



### 面舵と取り舵

昔の人は、船の方向を表すのに「干支」を用いていた。子(ね)を今の12時の位置として、時計回りに「丑」「寅」「卯」…の方向とした。左の方角に進路を向けるのは「酉舵」であり、それが「取り舵」に変化していったのである。

一方、「面舵」は、右の卯(う)の方向に進路を向けることから「卯の舵」と呼ばれていたが、「卯面舵(うむかじ)」など徐々に訛ってしまい「面舵」に転化したものである。

